

これからも笑顔で仲良く

～金婚夫婦表彰～

第51回熊日金婚夫婦表彰が行われ、本市では今年、金婚式を迎えられた307組のご夫婦が表彰を受けられました。栖本地区では、9月13日に栖本福祉会館で開かれた敬老会で、同表彰の伝達式を実施。熊本日日新聞社から表彰状と記念品が、市から夫婦湯のみなどが贈られました。

表彰を受けられた湯船原地区の原田一之さん・房江さんご夫婦は、「これからも2人で仲良く暮らしていきたい」と喜びを語っていました。



▲表彰状を受け取る原田さんご夫婦

辻本美加さん（熊本市）が「五足の靴大賞」受賞！

～五足の靴顕彰全国短歌大会～

8月22・23日、「第24回五足の靴顕彰全国短歌大会」が天草町のホテルで開催され、県内外から70人の短歌愛好家が参加しました。22日には、歌人の高野公彦氏による講演会や即詠会などを実施。翌23日の短歌会では、応募のあった1,201首の中から高野氏ら5人の選者による入選歌の発表などが行われ、グランプリの『五足の靴大賞』には、辻本美加さん（熊本市）の「^{はりす}玻璃透きて朝日が射せ^ゆば逝きし子のフルートふかく銀の音する」が選ばれました。



▲「五足の靴大賞」に輝いた辻本美加さん

地域を守る市女性消防隊が出場！

～女性消防操法大会～

8月23日、城南町の火の君総合文化センター特設会場で「第1回熊本県女性消防操法大会」が開催され、本市から市消防団・女性消防隊が出場しました。

大会には、同隊のほか県内の女性消防隊11チームが参加。競技は5人1組で、ホースをつなぎ、軽可搬ポンプを操作して標的に向けて放水を行うもので、タイムや動作の正確性などを競いました。選手たちは、キビキビとした動作で日ごろの練習の成果を発揮していました。



▲真剣なまなざしで操法を行う隊員の皆さん

高原康幸さんが逆転優勝！

～全国高校総体・ウエイトリフティング競技～

8月11日、奈良県で行われた全国高校総体（インターハイ）ウエイトリフティング競技・77kg級で、天草高校天草西校3年の高原康幸さんが優勝しました。この日高原さんは、スナッチ競技を終えた時点でライバルの選手にリードを許す展開。しかし、得意のクリーン&ジャークで逆転に成功し、春の選抜大会に続き2冠を達成しました。国体では、県選手団の旗手も務める高原さんは、「国体も勝って3冠を旨ざします」と力強く語っていました。



▲優勝を決定する149kgのバーベルを挙げる高原さん

すてきなおはなしとどけます

～童話発表・市本渡地区大会～

9/5
本渡

9月5日、天草市民センター大会議室で「第48回童話発表天草市本渡地区大会」が開催されました。これは、市教育委員会が、読書意欲の向上や豊かな心の育成を図ることなどを目的に毎年実施しているもの。大会では、同地区の各小学校から選ばれた児童23人が参加。参加者は、この日のために一生懸命に練習した思い入れのある童話を、身ぶり手ぶりを交えながら感情豊かに発表。会場中が童話の世界に包まれ、聴衆を引き込んでいました。



▲感情豊かに童話を発表する児童

安心して暮らせる地域を目ざして

～城河原地区自主防災会・防災訓練～

9/6
五和

防災週間の9月6日、城河原地区で地区住民約200人が参加し、「防災訓練」が行われました。訓練は、同地区で地震が発生したと想定。城河原公民館に災害対策本部を設置し、高齢者の避難誘導や健康診断、炊き出しなどの訓練を実施しました。また、参加者たちは、天草広域連合消防本部や地元消防団などの協力で、ふだんは経験することが少ない初期消火訓練や心肺蘇生法などを行い、緊急時における対応の大切さなどを学びました。



▲消火器による初期消火訓練を行う参加者

タコさん夏の思い出をありがとう！

～タコつぼ引き上げ式～

9/6
有明

9月6日、大浦地区振興会が実施するタコつぼオーナー制度の「タコつぼ引き上げ式」が大浦漁港で行われ、オーナーとその家族など60人が参加しました。参加者は、タコつぼが仕掛けられたポイントに向け同漁港を出港し、船上でタコつぼの引き上げ作業を間近で見学。その後、引き上げられたタコつぼはオーナーに引き渡されました。式終了後は、バザーや新鮮な地魚の即売会なども実施。参加者は、潮風を肌で感じながら天草の海を満喫していました。



▲取れたてのタコを堪能する参加者

ジオパーク国内認定を目ざして

～日本ジオパーク委員会現地審査～

9/7～9
御所浦

9月7日から9日まで、市が推進するジオパーク（大地の遺産を活用した公園）の国内認定に向けた現地審査が行われました。この日訪れたのは、日本ジオパーク委員会の尾池和夫委員長ら3人。審査団は、横浦島の地層やトリゴニア砂岩化石採集場、御所浦群層の赤色岩層などを視察。「地質などの素材については十分」などの評価を受けました。今後は、今回の審査結果などをふまえて10月末ごろに結論が出る予定で、国内8例目の認定に期待がかかります。



▲トリゴニア砂岩化石採集場を視察する審査員